(3	3) ±	二木設計業務	「詳細設計Ver」		①〔監督員用〕		業務名:	(1/3)
	111111111111111111111111111111111111111	平価項目	評価の視点	配点	得点率 優響 標準 劣 1.0 0.8 0.6 0.4 0.2	得点	評 価 細 目	
		提案力 改善力 〔加点評価〕	業務着手段階 における業務 特性等の考慮	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 "=1⇒「0.8」、"=2⇒「1.0」 チェック数 0	12	□ ・当該業務の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた ・当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・設計等の手法・技術に関する提案がなされた。注1)	-
			業務遂行段階における提案	40	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」、n=2⇒「1.0」 チェック数 0	24	□ ・業務遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 ・関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レに基づく提案がなされた。注1)	・ベル
プロセ			業務遂行上 必要となる 課題の提案	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」、n=2⇒「1.0」	12	□ ・当該業務で不足する課題が抽出された。 □ ・検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された	- -0
	専門技術力		業務内容等 改善の提案	20	チェック数 (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (8) (9) (9) (9) (1) (1) (1) (1) (1	12	□ ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 □ ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。	
ス評価			小計	100	チェック数 0	60		
		業務執行技術力	目的と内容の 理解 (加点評価)	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」、n=2⇒「0.6] n=3⇒「0.8」、n=4⇒「1.0」 チェック数 0	8	□ ・業務計画書に必要事項が記載されていた。 □ ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 □ ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 □ ・特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業がなれていた。	-
			必要情報の 把握 〔加点評価〕	30	評価細目 f_{xy} /数=0 \Rightarrow $f_0.2$ 」 $n=1\Rightarrow f_0.4$ 」、 $n=2\Rightarrow f_0.6$ 」 $n=3\Rightarrow f_0.8$ 」、 $n=4\Rightarrow f_1.0$ 」	6	 ・業務着手時点において、適切に資料等が整備された。 ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ・業務遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされた。 	
			打ち合わせ 資料の内容 〔滅点評価〕	30	チェック数 i評価細目チェック数=0⇒「1.0」 n=1⇒「0.8」、n=2⇒「0.6」 チェック数 0	30	 ・業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された ・打合せ資料に、作業(業務)の各段階で必要とされる内容が盛まれていなかった。 ・打合せ資料に大きなミスがあった。 	
			小計	100	チェック数 0	44		

注) 考査基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

(3	3) ±	二木設計業務	「詳細設計Ve	er∫	①〔監督員用〕		業務名:	(2/3)
	評価項目		評価の視点	配点	標準 点率 優 標準 劣 1.0 0.8 0.6 0.4 0.2	得点	評価細目	
			施工に関する 一般的な知識	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」、n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」、n=4⇒「1.0」 チェック数 0	8	・設計、図面作成において留意すべき、施工に関する一般的な知有していた。 ・施工方法の検討において一般的に留意すべき点を理解していた ・施工方法の内容及び長所・短所に関する一般的な知識を有して た。 ・施工方法が周辺環境におよぼす一般的な影響を理解していた。	
		施工時への配慮〔設計時評価〕(設計業務を対象に評定する。)	施工条件の 把握	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」、n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」、n=4⇒「1.0」	6	 □ ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 □ ・当該地域の環境特性を把握していた。 □ ・担当者の施工に係わる要求事項を把握していた。 	5 ± 11 →
		詳細設計 〔加点評価〕			チェック数 0		・契約図書及び発注者に指示された施工に係わる関係機関等の情 把握していた。	報を
		コスト把握能力(設計業務を対象に評定する。) 〔加点評価〕	施工計画 (施工方法、 仮設備計画)	30	評価細目 f_{xy} /数=0 \Rightarrow $f_0.2$ 」 $n=1\Rightarrow f_0.4$ 」、 $n=2\Rightarrow f_0.6$ 」 $n=3\Rightarrow f_0.8$ 」、 $n=4\Rightarrow f_1.0$ 」	6	□ ・必要事項を記載した施工計画が提案された。 □ ・施工条件を的確に踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された ・工事が周辺環境に及ぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設 画が提案された。	
					チェック数 0		・当該工事箇所における施工上の留意事項が、重要度別かつ施工 毎に適切に整理する提案がなされた。	段階
			小 計	100	1	20	ロープ事件に関わる。ロープを担心した。	
			フ フト	100	評価細目 f_{xy} /数=0 \Rightarrow $f_0.2$ 」 $n=1$ \Rightarrow $f_0.4$ 」、 $n=2$ \Rightarrow $f_0.6$ 」 $n=3$ \Rightarrow $f_0.8$ 」、 $n=4$ \Rightarrow $f_1.0$	20	□ ・工事費に関するコスト把握能力を有していた。□ ・現地条件などの固有条件がコストに及ぼす影響を理解していた□ ・コスト縮減に係わる提案があった。	- - 0
					チェック数 0		・ライフサイクルコストや新技術・新工法等の総合的なコストを においたコスト縮減に係わる提案があった。	:念頭
			小 計	100	1	20		
		工程管理能力	実施手順 工程計画 30 実施体制 10 打合せ内容の 理解、記録 10	30	評価細目チェック数=0⇒「1.0」 n=1⇒「0.8」、n=2⇒「0.6」	30	・契約締結後7日以内に業務工程表が提出されないなど、速やかり 着手がなされなかった。 ・業務実施方針及び業務工程表には、設計図書に示された事項が に反映されていなかった。	
					チェック数 0		de of the state of	
				10	評価細目チェック数=0⇒「1.0」 n=1⇒「0.8」、n=2⇒「0.6」	10	・契約図書に基づき、管理技術者届け及び業務計画書が提出されかった。 ・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、が履行されなかった。	
					チェック数 0			
プロセ	管理技			10	評価細目チュック数=0⇒「1.0」 n=1⇒「0.8」、n=2⇒「0.6」	10	□ ・打合せ記録簿が提出されなかった。□ ・打合せ記録簿の記載内容が打合せ結果を適切に反映してなかっ	った。
ス評価	7 術力	〔減点評価〕			チェック数 0			
価			内部関係者へ の情報伝達	10	評価細目チェック数=0⇒「1.0」 n=1⇒「0.8」、n=2⇒「0.6」	10	・受注者内の意志疎通が不十分であり、指示や打合せ事項が資料 反映されなかった。 ・受注者内の意志疎通が不十分であり、同様な指示を何度も実施 た。	
					チェック数 0			AB 10
			工程管理	40	評価細目チェック数=0⇒「1.0」 n=1⇒「0.8」、n=2⇒「0.6」	40	・工程に遅れが目立ち、履行期限内に納品されない恐れがあり、返し指示を行った。(発注者側に遅延要因がある場合を除く)・工程に遅れが目立ち、関連する他の業務・事業等に影響を及ほた。(発注者側に遅延要因がある場合を除く)	
					チェック数 0			
			小 計	100	1	100		

注) 考査基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

(3	;) ±	二木設計業務	「詳細設計Ve	er∫	①〔監督員用〕		業務名:	3/3)
	THE STATE OF	平価項目	評価の視点	配点	標準 宏 一個 一個 1.0 0.8 0.6 0.4 0.2	得点	評 価 細 目	
		迅速性 弾力性 調整能力	当初計画の 変更	40	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」、n=2⇒「1.0」 チェック数 0	24	・業務遂行中に生じた、当初工程計画からの変更要請に迅速に対応た。 ・その結果生じた検討内容が特に優れていた。	١
	管理技術		関連事業者間 の調整	30	評価細目チュック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」	18	・発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整のための資料が 滑に作成された。 ・作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。	円
	力	[加点評価]			チェック数 0			
		CONTINUE IN THE	地元住民との 合意形成	30	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」、n=2⇒「1.0」	18	・発注者からの指示に基づき、地元住民との合意形成のための資料円滑に作成された。 ・作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。	が
プ					チェック数 0			
ロセ			小 計	100	①	60		
ス評価		説明力 協調性 プレゼンテーション力 〔加点評価〕	理解しやすい 説明 プレゼンテーション (資料)	40	評価細目 f_{xy}/g_{0} =0 \rightarrow $[0.2]$ $n=1\rightarrow$ $[0.4]$ 、 $n=2\rightarrow$ $[0.6]$ $n=3\rightarrow$ $[0.8]$ 、 $n=4\rightarrow$ $[1.0]$	8	 □・日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 □・図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 □・資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 	
	コミュ ニケー ショ		理解しやすい 説明 プレゼンテーション (対応)	30	チェック数 0 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」、n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」、n=4⇒「1.0] チェック数 0	6	 □・資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた □・打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 □ 増間に対し的確な回答がなされた、又は即答できない場合には回期限が提示された。 □ 一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 □ 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に解できた。 	答
	ンカ		円滑な業務遂行への努力	30	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」、n=2⇒「1.0」 チェック数 0	18	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
			小計	100	(1)	32		
プロセス評	取組姿勢	責任感積極性	責任感積極性	100	評価細目 f_{xy} 7数=0 \Rightarrow $\lceil 0.2 \rfloor$ $n=1\Rightarrow\lceil 0.4 \rfloor$ 、 $n=2\Rightarrow\lceil 0.6 \rfloor$ $n=3\Rightarrow\lceil 0.8 \rfloor$ 、 $n=4\Rightarrow\lceil 1.0 \rfloor$	20	・管理技術者、照査技術者、担当技術者として、責任逃れの言動はかった。 ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が理認されていた。 ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認	。 手確
価	/	倫理観			チェック数 ()		・ 乗物逐行政権において不明な点が生した場合、同い合わせや雑誌 迅速になされた。	IJ*
L			小 計	100	①	20		

注1) 考査基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

(3	(3) 土木設計業務		「詳細設計Ver」 ②		②〔主任監督員用〕		業務名:	(1/1)
	評価項目		評価の視点	配点	標準 劣 1.0 0.8 0.6 0.4 0.2	得点	評 価 細 目	
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	業務執行 技術力	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」、 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」、 n=4⇒「1.0」 チェック数 0	20	・当該業務に必要な情報の把握について、評価できるものでた。 ・当該業務に対する検討項目及び検討手法について、評価でのであった。 ・当該業務の打合せ資料の内容について、評価できるものでた。 ・当該業務に必要とされる技術力を十分に発揮し、評価できであった。	きるもあっ
			小 計	100	3	20		
	取組姿勢	積極性	責任感 積極性 倫理観	100	評価細目 f_{xy} 7数=0⇒ f 0. 4」 n=1⇒ f 0. 6」、 $n=2$ ⇒ f 0. 8」 n=3⇒ f 1. 0」 チェック数 0	40	□・企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。 □ ・当該業務遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に評価できるものであった。 □ ・業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体と制の拡充を図る等により、業務を完成させた。	
			小 計	100	3	40		

(3	(3) 土木設計業務		「詳細設計Ver」		③〔検査員用〕		業務名:	(1/1)
	評価項目		評価の視点	配点	得点率 優地 標準 劣 1.0 0.8 0.6 0.4 0.2	得点	評 価 細 目	
	専	業務執行技術力	検討項目 検討手法	50	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」、n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」、n=4⇒「1.0」 チェック数 0	10	□ ・検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた □ ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合してた。 □ □ ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討間の整合も図られていた。 □ ・提案された業務手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先別術を活用するなど、難易度の高いものであった。注1)	項目
	門技術力		十分な技術力	50	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」、n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」、n=4⇒「1.0」 チェック数 0	10	・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分にされていた。 ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十技術力を有していた。 ・業務遂行段階において発注者から新たに指示された事項につ十分満足できる解決が図られていた。 ・新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分応できる能力を有していた。注1)	分ないて
プロ			小 計	100	5	20		
セス評価	管理技術力	品質管理能力	ミス防止 <i>の</i> 実施	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」、n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」、n=4⇒「1.0] テェック数 0	20	□ ・業務計画書等に、照査体制が記載されていた。 □ ・業務計画書等に照査担当者が配置されていた。 □ ・チェックリスト等の品質管理の記録により、照査が実施されとを確認できた。 □ ・品質管理のためのシステム(ex. IS09001)が構築されている部業務を行った。	
			小 計	200	5	20		
	コミュニケーショ	説明力 協調性 プレゼンテーション力	説明力 協調性 100 プ [*] レセ*ンデーション力	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」、n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」、n=4⇒「1.0」 チェック数 0	20	□ ・質問に対し的確な回答がなされ、一般論と当該業務固有の議明確に区別されていた。 □ ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容理解できた。 □ ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 □ ・説明が不十分若しくは説明当事者の説明が不十分の場合、他ンパーにより補足説明がなされた。	易に理解	
	ン 力		小 計	100	5	20	シノバ (により)相圧成功がなされいに。	
			目的の達成度	40	評価細目チェック数=0⇒「0.4」 n=1⇒「0.6」、n=2⇒「0.8」 n=3⇒「1.0」 チェック数 0	16	□ ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 □ ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであっ □ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高務に対し必要な業務成果が得られた。	い業
結果評価	J.	成果品の品質	的確な とりまとめ	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」、n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」、n=4⇒「1.0] チェック数 0	6	・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏く取りまとめている。 ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫られ読みやすい。 ・ 設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ要な点が理解しやすく取りまとめられている。	がみ
					評価細目 f_{xy} /数=0 \Rightarrow 「0.4」 $n=1\Rightarrow$ 「0.6」、 $n=2\Rightarrow$ 「0.8」 $n=3\Rightarrow$ 「1.0」	12	・誤字・脱字、表記・計算ミスがわずかに認められたが、簡易に できる軽微なものであった若しくはミスがなかった。	修正
			ミスの有無	30	チェック数 0	12	□ ・修正が必要なミスは無かった。□ ・ミスは無く、必要書類等も完備されていた。	

⑤ 34

注1) 考査基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

小 計

100